

大崎駅

大崎駅は、明治 34 年に日本鉄道品川線の駅として 開業しました。以来ずっと山手線の駅の中でも 1、2 を争う地味な駅と言われていましたが、平成 14 年にりんかい線が開業すると一変し、湘南新宿ラインも停車するターミナル駅となりました。近年ではシンクパークをはじめ「大崎副都心」と呼ばれるほど周囲も発展しています。それに伴い駅の乗車人員（降車客含まず）は、平成 13 年度には 5 万 7, 069 人だったものが平成 27 年度には 15 万 4, 544 人となり、J R 東日本の駅で 17 番目にランクされています。



(大崎駅の始発電車の要：国鉄大井工場)